

第 2 次生駒市教育大綱(事務局案)に対する教育委員からの意見まとめ

事務局案（12/23 時点）	教育委員からの提案	委員名
<p>基本方針 2</p> <p>1 「地域に開かれ、地域とともにある学校づくりの推進」</p> <p>○今後の学校教育のあり方を踏まえ、コミュニティ・スクールや学校施設の地域への開放など、地域活動の拠点となる、「地域とともにある学校」の実現に向けた取組を進めます。</p>	<p>○コミュニティ・スクールを推進し、地域・社会と結ばれた教育の場としての学校作りに向けた取組を進めます。</p>	坪井委員
<p>3 多様性を認める柔軟性とやさしい心の育成</p> <p>○いじめを許さない学校づくりをはじめ、個々人の違いや多様性を理解し、他者と相互に認め合うための具体的な学びの機会を確保することで、自他ともに大切にすやさしい心を育成します。</p>	<p>1 「コミュニティ・スクール」の推進</p> <p>○今後の学校教育のあり方を踏まえ、学校・保護者・地域住民が一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え育む、「地域と共にある学校づくり」に向けた取組を進めます。</p> <p>○いじめを許さない学校づくりをはじめ、子どもたち一人一人が命の大切さを学び、個々人の違いや多様性を理解し、自他ともに大切にすやさしい心を育むために、人権教育を充実させます。</p>	レイノルズ委員
<p>4 主体的に学び、挑戦を続けるたくましい心身の育成</p> <p>○「稼ぐ力」や「地域にとび出す機会の創出」など、実体験を増やすことで、興味ある分野への好奇心を促し、失敗しながらもチャレンジし続ける、逆境に負けないたくましい心身を育成します。</p>	<p>○自他の「好き」や「得意」を認め、実際にそれが実社会で役立つような経験を通し、お互いを尊重し合える教室づくりを進めます。</p> <p>○年齢に応じた「自立」や「はたらく」意味を感じられる様々な実体験を増やすことで、興味ある分野への好奇心を促し、失敗しながらもチャレンジをし続ける、逆境に負けないたくましい心身を育成します。</p>	坪井委員 レイノルズ委員

事務局案（12/23時点）	教育委員からの提案	委員名
<p>基本方針3</p> <p>1 人と本、人と人をつなぎ、まちづくりの拠点となる可能性に満ちた図書館づくり</p> <p>○図書館を、人と本、人と人をつなぐとともに、市民と読書を通じたネットワークの構築など、まちづくり活動の拠点として、さらなる発展を目指した取組を進めます。</p>	<p>○図書館をまちづくりの拠点とし、人と本、人と人をつなぐとともに、様々な活動を通じて市民同士がネットワークを構築するなど、さらなる発展を目指した取組を進めます。</p>	<p>レイノルズ委員</p>
<p>3 「健康」「生きがい」「仲間」「まち」をつくるスポーツの発展</p> <p>○スポーツを通して、仲間の輪が広がり、誰もがいきいきと笑顔あふれるまちづくりを進めるため、高齢者の健康づくりや障がい者スポーツの推進など、誰もが身近な地域で気軽に行うことができる環境整備や、トップアスリートと触れ合うことができる機会づくりを進めます。</p>	<p>○スポーツを通して仲間の輪が広がり、誰もがいきいきと笑顔あふれるまちづくりを進めるため、スポーツを身近で気軽に行うことができる環境整備や、トップアスリートとの交流など本物と触れ合うことができる機会づくりを進めます。</p>	<p>レイノルズ委員</p>

事務局案（12/23時点）	教育委員からの提案	委員名
<p>4 すべての人が楽しく、安心して成長し、活躍できる機会の創出</p> <p>○障がいの有無、国籍、性別、年齢などによる差別をなくし、人権を尊重し、多様性を認め合う学びや体験の場を創ります。また、社会での「生きづらさ」を抱える子ども、若者の再挑戦を応援するため、相談体制の充実を図るなど、すべての人が安心して学び、成長できる環境整備を進めます。</p>	<p>【案1】学校や家庭での教育を通じて、こころの健康に関する正しい知識を身につけ、障がいや疾患への誤解や偏見を持たず、自分と周囲の人たちの健康を守れるようになる学びを進めるとともに、困ったときには人に援助を求めることができる開かれたまちづくりを目指します。</p> <p>【案2】教育を通じて、心身の健康に関する正しい知識を身につけ、障がいや疾病へ誤解や偏見をなくして、自分や周囲の人たちの健康を守れるようになる学びを進めるとともに、困ったときには人に援助を求めることができるしなやかなこころとからだの育成を目指します。</p>	<p>神澤委員</p>

<生涯学習>

基本方針 3 すべてのライフステージで、楽しみながら学び、地域とつながる機会づくり

- 1 人と本、人と人をつなぎ、まちづくりの拠点となる可能性に満ちた図書館づくり
- 2 歴史・伝統文化・芸術を通じた、より豊かな街の実現
- 3 「健康」「生きがい」「仲間」「まち」をつくるスポーツの発展

- 4 すべての人が楽しく、安心して成長し、活躍できる機会の創出

○乳幼児から高齢者まで、すべてのライフステージや個々のケースに応じて学び、楽しめる機会を増やし、市民の一体感を醸成します。仲間づくり、生きがいつくり、健康づくりはもちろんのこと、市民の生涯学習をまちづくりにもつなげる具体的な仕組みを構築します。

○障害の有無、国籍、生別、年齢などによる差別をなくし、人権を尊重し、多様性を認め合う学びや体験の場を創ります。また、社会での「いきづらさ」を抱える子ども、若者の再挑戦を応援するため、相談体制の充実を図るなど、すべての人が安心して学び、成長できる環境整備を進めます。

○高齢者をはじめとする地域の力を活用し、幅広い世代への学び提供するとともに、新たな人材の発掘・育成に努め、学校と地域との連携や地域課題への担い手として街づくりにつながる具体的な取り組みを進めます。

[神澤案]

【案1】学校や家庭での教育を通じて、こころの健康に関する正しい知識を身につけ、障害や疾患への誤解や偏見を持たず、自分と周囲の人たちの健康を守れるようになる学びを進めるとともに、困ったときには人に援助を求めることができる開かれたまちづくりを目指します。

【案2】教育を通じて、心身の健康に関する正しい知識を身につけ、障害や疾病へ誤解や偏見をなくして、自分や周囲の人たちの健康守れるようになる学びを進めるとともに、困ったときには人に援助を求めることができるしなやかなこころとからだの育成を目指します。

生駒市教育大綱事務局案に対する意見

意見①「安心・安全」と「安全・安心」が混在しているので、統一すること。

意見②

1 「地域に開かれ、地域とともにある学校づくり」の推進

「今後の学校教育のあり方を踏まえ、コミュニティ・スクールや学校施設の地域への開放など、地域活動の拠点となる、「地域とともにある学校」の実現に向けた取組を進めます」について

→「地域とともにある学校づくり」を進める法律に則って、地域と一体となって学校運営をコミュニティスクールへと転換していくことは、もはや必須です。しかし、文言にある「学校施設の地域への開放」に関しては、学校・保護者・生徒など、学校を取り巻く人たちと、慎重に協議するべきことであり、大綱に明記することにためらいを感じる。

実際に、保護者の方々に話を聞く機会があり、学校の地域への開放には、懐疑的な意見が多かったこと。

児童生徒たち自身が、これまでに安全教育を徹底されており、すでにしっかりと学校内での安全意識が育っており、その中で、学校を多数の人が出入りする場にするに違和感を感じる、という意見があったことを尊重したい。

災害時の避難所や、地域の交流の場としての、体育館や運動場などの利用や整備は必要性を感じるが、普通教室の日常的な開放は、現場で望まれたものではない限り、あるべきではなく、そのようにとられかねない文言で、大綱に書くべきではないように思う。

子どもたちに接する大人の数、学校外から増やすことよりも、担任や普段関わる先生以外の先生方と交流する機会を増やすなど、学校内でより多様な人間関係を作れる機会がもっとあると、有用だと思う。

案) コミュニティスクールを推進し、地域・社会と結ばれた教育の場としての学校作りに向けた取組を進めます。

意見④

4 主体的に学び、挑戦を続けるたくましい心身の育成

「「稼ぐ力」や「地域にとび出す機会の創出」など、実体験を増やすことで、興味ある分野への好奇心を促し、失敗しながらもチャレンジをし続ける、逆境に負けないたくましい心身を育成します」について

→教育大綱が各学校のグランドデザインのもとになるものと仮定すると、「稼ぐ力」というのは、具体的な学校経営に結びつきにくいと考え、教育大綱の文言としてふさわしいとは考えにくい。

以前、私が意見として述べた「稼ぐ教育」というのは、たとえば、モノ作りが得意な生徒、販売のプレゼンが得意な生徒、PRや広告制作が得意な生徒、梱包や商品の発送の文字がきれいに書ける生徒など、それぞれの「得意」や「好き」をクラス内でお互いが認め合い、自尊感情および他尊感情が育まれる機会があればいい、という意味で例をあげさせていただいた。

必ずしも「稼ぐ」必要はなく、その文言にとらわれるべきではないように思う。

主体的に学ぶこと、教育と社会・地域を結ぶことを目的とするなら、認定NPO法人 Teach For Japan や、e-learning を提供する法人、最先端でかつ安心できる教育プログラムを提供している法人と連携し協働することで、子どもたちの学びの環境をより社会と結びついたものにできると思う。

案) 自他の「好き」や「得意」を認め、実際にそれが実社会で役立つような経験を通し、お互いを尊重し合える教室づくりを進めます。

参考例 富より団子 富雄小学校中学校

http://www.city.nara.lg.jp/www/contents/1336628720838/files/narashijir_ei.pdf

レイノルズ委員

基本方針2-1：

<事務局案>

「地域に開かれ、地域とともにある学校づくり」の推進

今後の学校教育のあり方を踏まえ、コミュニティ・スクールや学校施設の地域への開放など、地域活動の拠点となる、「地域とともにある学校」の実現に向けた取組を進めます。

<問題点>

コミュニティ・スクールのあり方はまだまだ議論を重ねる必要があるため、あまり具体的な内容を大綱に盛り込むより、方向性を示す程度にはいかがでしょう。

<調整案>

「コミュニティ・スクール」の推進

今後の学校教育のあり方を踏まえ、**学校・保護者・地域住民と一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え育む**、「地域とともにある学校づくり」に向けた取組を進めます。

基本方針2-3：多様性を認める柔軟性とやさしい心の育成

<事務局案>

いじめを許さない学校づくりをはじめ、個々人の違いや多様性を理解し、他者と相互に認め合うための具体的な学びの機会を確保することで、自他ともに大切に作るやさしい心を育成します。

<問題点>

人権教育を明確に記載してはいかがでしょう。

<調整案>

いじめを許さない学校づくりをはじめ、**子どもたち一人一人が命の大切さを学び**、個々人の違いや多様性を理解し、自他ともに大切に作るやさしい心を育むために、**人権教育を充実させます**。

基本方針2-4：主体的に学び、挑戦を続けるたくましい心身の育成

<事務局案>

「稼ぐ力」や「地域にとび出す機会の創出」など、実体験を増やすことで、興味ある分野への好奇心を促し、失敗しながらもチャレンジをし続ける、逆境に負けないたくましい心身を育成します。

<問題点>

教育総合会議で話し合われた通り、表現によっては抵抗を生む可能性があるため、調整が必要かと思えます。

<調整案>

年齢に応じた「自立」や「はたらく」意味を感じられる様々な実体験を増やすことで、興味ある分野への好奇心を促し、失敗しながらもチャレンジをし続ける、逆境に負けないたくましい心身を育成します。

基本方針3-1：人と本、人と人をつなぎ、まちづくりの拠点となる可能性に満ちた図書館づくり

<事務局案>

図書館を、人と本、人と人をつなぐとともに、市民との読書を通じたネットワークの構築など、まちづくり活動の拠点として、さらなる発展を目指した取組を進めます。

<問題点>

主語述語のつじつまが合わないように思います。より分かりやすくスムーズに読めるよう、下記のように調整してはいかがでしょうか。

<調整案>

図書館をまちづくりの拠点とし、人と本、人と人をつなぐとともに、様々な活動を通じて市民同士がネットワークを構築するなど、さらなる発展を目指した取組を進めます。

基本方針3-3：「健康」「生きがい」「仲間」「まち」をつくるスポーツの発展

<事務局案>

スポーツを通して、仲間の輪が広がり、誰もがいきいきと笑顔あふれるまちづくりを進めるため、高齢者の健康づくりや障がい者スポーツの推進など、誰もが身近な地域で気軽に行うことができる環境整備や、トップアスリートと触れ合うことができる機会づくりを進めます。

<問題点>

少し長文なのと、高齢者や障がい者が目立つので、詳細はその下につくアクションプランで具体的にすると、大綱ではよりシンプルにしてみてもはいかがでしょうか。

<調整案>

スポーツを通して仲間の輪が広がり、誰もがいきいきと笑顔あふれるまちづくりを進めるため、スポーツを身近で気軽に行うことができる環境整備や、トップアスリートとの交流など本物と触れ合うことができる機会づくりを進めます。